

在宅医療・介護多職種連携協議会 研修部会

～報告～

令和元年10月29日

目 的

在宅医療に係る多職種連携の推進のための研修体制について検討する。

- 顔の見える関係会議や在宅医療研修の内容について検討
- その他の研修(各団体主催研修会の連携・調整など)について検討

会議内容等に関する感想・意見等（抜粋）

医師	今後、心不全は重要なテーマになる。問題提起のきっかけとなった。
歯科医師	普段、交流のない職種の方々と会話ができ、着眼点が違う意見を聞いたため、新たな認識を得ることができた。
薬剤師	他職種の仕事内容、考え方を学ぶことができ、自分の仕事とどのように連携できるか考えることができた。
訪問看護師	心不全の見方が深まり、各々の専門職に特化した支援策があることを学べた。同じ症状の利用者がいるため、今後の支援に活かしたい。
介護支援専門員	心不全の観察ポイントなど具体的に知ることができた。利用者や患者をみる視点が違うため、アプローチの方法など活かせる。
医療ソーシャルワーカー	直接業務に関わる内容であり、他職種の視点や考え方が参考になった。
管理栄養士	他職種の考え方を学ぶことができ、今後の業務に活かしていきたい。
介護職	多職種の見方や考え方を聞いて勉強になり、心不全への理解が深まった。在宅で過ごしている方に非常に多いので、今後の仕事に活かせると思う。
リハビリ職	知識を深められた。色々な視点による意見を聞いたことで、考える幅が広がった。
救急救命士	入院前後の傷病者の状況を多職種からの視点で考えることができ、傷病者の理解や他職種による支援の理解に繋がった。



まとめ

心不全の症状や支援のポイントについて理解を深めることができ、日頃の業務につながる学びとなった。病状悪化を予防し、多職種が連携して支援することの重要性を理解、共有することができた。

今後の予定

<顔の見える関係会議>

	開催日時	テーマ	会場
第28回	北部 (柏北部・北柏・北柏第2) 令和元年11月21日(木)	エリア別 「がんになっても、その人らしく生きる選択をするために」	柏地域医療連携センター
	中央 (柏西口・柏西口第2・柏東口・柏東口第2) 令和元年11月25日(月)		柏地域医療連携センター
	南部 (光ヶ丘・柏南部・柏南部第2・沼南) 令和元年11月29日(金)		沼南庁舎 大会議室
第29回	令和2年2月20日(木)	アドバンス研修 (仮)「意思決定支援について」	柏地域医療連携センター

<部会>

第2回 令和2年3月2日(月)

内容: 令和元年度活動内容の評価と令和2年度の活動提案

令和元年度第11回在宅医療推進のための多職種連携研修会 -開催報告-

日程：令和元年9月8日(日)，10月20日(日) 場所：柏地域医療連携センター

主催：柏市医師会、柏市

共催：柏歯科医師会，柏市薬剤師会，柏市訪問看護ステーション連絡会，
柏市介護支援専門員協議会，柏市在宅リハビリテーション連絡会，
東葛北部在宅栄養士会，柏市介護サービス事業者協議会

*GW：グループワーク

修了者数：55名

医師5名，歯科医師6名，薬剤師6名，看護師6名，病院看護師1名，歯科衛生士4名，
リハビリ職5名，管理栄養士4名，介護支援専門員6名，地域包括支援センター職員7名，
介護サービス事業者5名

(1日目)令和元年9月8日終日

- ・柏市における在宅医療の取り組み
- ・在宅生活を支える多職種プレゼンテーション
- ・心不全の地域包括ケアについて (講義・GW)
- ・認知症の行動心理徴候(BPSD)の基本的理解 (講義・GW)
- ・摂食・嚥下障害の基礎知識とその対応(講義・GW)
- ・意見交換会

(2日目)令和元年10月20日終日

- ・退院時共同指導 ご家族の体験談(講義他)
- ・がんの緩和ケアに必要な知識(講義)
- ・がんの疼痛緩和(講義・GW)
- ・多職種によるがん患者への在宅医療介護支援 (GW)
- ・柏市の意思決定支援の取り組みについて(他)
- ・本人・家族の選択と心構えをどう支えるか (講義・GW)
- ・在宅での褥瘡ケア(講義)
- ・一般開業医が取り組む訪問診療の実際(講義)
- ・在宅医療を推進する上での課題とその対策(GW)
- ・修了証書授与

(実地研修) 医師3名が訪問診療の同行研修を実施。